

日本赤十字社社長に「救援車両」贈呈に伴う

感謝状の受贈について

神奈川県遊技場協同組合（理事長：伊坂重憲）と神奈川県福祉事業協会（会長：伊坂重憲）は、日本赤十字社神奈川県支部に対して、協会発足当初から継続して支援を行っています。

今年度は、災害時に医師や看護師等の医療スタッフが乗車し、災害現場に急行する救援車両の整備を支援しました。

これに対し、日本赤十字社社長から、感謝状をいただきました。

1. 日時	令和2年11月26日（木）
2. 場所	神奈川県庁本庁舎3階 第三応接室
3. 感謝状贈呈者	日本赤十字社社長
4. 受贈者	神奈川県遊技場協同組合・神奈川県福祉事業協会

5. 概要

神奈川県遊技場協同組合と神奈川県福祉事業協会は、昭和60年の協会設立以来、様々な社会貢献活動を実施してまいりましたが、日本赤十字社神奈川県支部に対しては、協会発足当初から継続して支援を行っており、これまで血液運搬車や医療器具などを助成してきました。

東日本大震災以後は、災害時対応の通信指令車、器材搬送車両、救急車など、災害現場で活用する車両をはじめ、被災者に配布する援護物資の整備、被災地でのライフライン確保を目的として、医療現場で電源を確保することが難しく従来の発電機では騒音や排気ガスなど救護活動への支障があることからリチウムイオン蓄電池を、更に昨年度は、災害時に医師や看護師等の医療スタッフが乗車し、資機材を搭載して災害現場に急行する救急車両を支援しました。

今年度は、災害時に医師や看護師等の医療スタッフが乗車し、災害現場に急行する救援車両の整備を支援しました。同救援車は、11月に横浜市総合防災訓練（九都県市総合防災訓練）に横浜市立みなと赤十字病院救護班として参加いたしました。

これに対し11月26日、神奈川県庁において、日本赤十字社神奈川県支部黒岩祐治支部長（神奈川県知事）から日本赤十字社社長感謝状をいただきました。

この贈呈式の模様は、神奈川新聞に掲載され、タウンニュースでも紹介されました。

